

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	こはるび		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 17日	～	R7年 3月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	R7年 2月 17日	～	R7年 2月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 12日		

○分析結果

事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にしている取組等 さらに充実を図るための取組等	サービュ提供時間が長い	保護者の要望を聞いて預かりや送迎を行っている。 送迎、見守り体制の強化。人員の確保。	1
事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	個別支援計画や日々の保護者、学校の担任との申し送りや話の各職員の、個別のニーズに応えるための支援技術の向上。 なかで、ニーズを共有、把握している。臨床心理士による評価もを行っている。	集団療育がメインだが、個別課題等で個々のニーズにも対応している。		2
事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等	リフレシアが完全でない。 階層が分かれているため。(手すりは設置している)	1階部分のみで過ごせる環境作り。	1
				2
				3

事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にしている取組等 さらに充実を図るための取組等	サービュ提供時間が長い	保護者の要望を聞いて預かりや送迎を行っている。 送迎、見守り体制の強化。人員の確保。	1
事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等	リフレシアが完全でない。 階層が分かれているため。(手すりは設置している)	1階部分のみで過ごせる環境作り。	1
				2
				3

児童発達支援事業所における自己評価総括表

公表

事業所名	こはるび		
保護者評価実施期間	R7年 2月 17日	～	R7年 3月 5日
保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
従業者評価実施期間	R7年 2月 17日	～	R7年 2月 23日
従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 12日		

○分析結果

事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等 さらに充実を図るための取組等	サード提供時間が長い 保護者の要望を聞いて預かりや送迎を行っている。	送迎、見守り体制の強化。人員の確保。
1			
2	集団療育がメインだが、個別課題等で個々のニーズにも対応している。 個別支援計画や日々の保護者、学校の担任との申し送りや話のなかで、ニーズを共有、把握している。臨床心理士による評価もやっている。		
3			

事業所の強み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等	リニアリーが完全でない。 隔層が分かれているため。(手すりは設置している)	1階部分のみで過ごせる環境作り。
1			
2			
3			



項目	内容	評価	理由	改善策	実施状況
20	ごちや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると 思いますか。	4			
21	定期的な通信やメール、SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制 等の情報や業務に関する自己評価の結果をごちや保護者に対して発信さ れていますか。	3	1		
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いませんか。	4			
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユ アル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていま すか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1		
24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓 練が行われていますか。	3	1		
25	事業所より、ごちやの安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いませんか。	4			
26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事 故が発生した際の状況等について説明がなされていると思いませんか。	4			
27	ごちやが安心感をもって通所していますか。	3	1		
28	ごちやは通所を楽しみにしていますか。	2	2		
29	事業所の支援に満足していますか。	4			

30	ごちやが通所を希望していますか。	4			
31	ごちやが通所を希望する理由を教えてください。	4			
32	ごちやが通所を希望しない理由を教えてください。	4			
33	ごちやが通所を希望する理由を教えてください。	4			
34	ごちやが通所を希望しない理由を教えてください。	4			
35	ごちやが通所を希望する理由を教えてください。	4			
36	ごちやが通所を希望しない理由を教えてください。	4			
37	ごちやが通所を希望する理由を教えてください。	4			
38	ごちやが通所を希望しない理由を教えてください。	4			
39	ごちやが通所を希望する理由を教えてください。	4			
40	ごちやが通所を希望しない理由を教えてください。	4			
41	ごちやが通所を希望する理由を教えてください。	4			
42	ごちやが通所を希望しない理由を教えてください。	4			
43	ごちやが通所を希望する理由を教えてください。	4			
44	ごちやが通所を希望しない理由を教えてください。	4			
45	ごちやが通所を希望する理由を教えてください。	4			
46	ごちやが通所を希望しない理由を教えてください。	4			
47	ごちやが通所を希望する理由を教えてください。	4			
48	ごちやが通所を希望しない理由を教えてください。	4			
49	ごちやが通所を希望する理由を教えてください。	4			
50	ごちやが通所を希望しない理由を教えてください。	4			

公表 保護者等からの放課後等サービス入事業所評価の集計結果

事業所名 にはるび

公表日 年月日

利用児童数 年月日

回収数 12

項目	環境	体制	整備	4	5	6	7	8	9	10	11	12	提供	適切な	14	15	16	17	18	19
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	11	1	2	1	1	1	11	12	11	12	12	12	12	12
1	子どもの活動等の入サービスが十分に確保されていると思えますか。	11																		
2	職員の数等は適切であると思えますか。	10																		
3	生活空間は、子どもにわかりやすく構築された環境になっていると思えますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思えますか。	9	2	1																
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思えますか。また、子どもの遠く離れた活動に合わせた空間となっていると思えますか。	12																		
5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	12																		
6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思えますか。	11																		
7	子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等サービス入計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	12																		
8	放課後等サービス入計画には、放課後等サービス入プログラムの「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	11																		
9	放課後等サービス入計画に沿った支援が行われていると思えますか。	12																		
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思えますか。	12																		
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	3	5																
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか。	12																		
13	「放課後等サービス入計画」を示しながら、支援内容の説明がなされていますか。	12																		
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（メンタル・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	2																
15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	12																		
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12																		
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	12																		
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が得られるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだいのためのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が得られるなど、きょうだいへの支援がされているか。	6	3	1	2															
19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1																	

項目	内容	評価		備考	
		達成度	満足度		
20	ごちや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると 思いますか。	12			
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制 等の情報や業務に関する自己評価の結果をごちや保護者に対して発信さ れていますか。	12			
22	個人情報情報の取扱いに十分に留意されていると思いませんか。	12			
非 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユ アル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていま すか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2	1
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓 練が行われていますか。	6	1	5
	25	事業所より、ごちの安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いませんか。	9	1	2
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事 故が発生した際の状況等について説明されていると思いませんか。	10	1	1
	27	ごちは安心感をもって通所していますか。	12		
満 足 度	28	ごちは通所を楽しんでおられますか。	11	1	
	29	事業所の支援に満足していますか。	12		

11	事業所では、ごちの安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いませんか。	9	1	2
12	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユ アル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていま すか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2	1
13	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓 練が行われていますか。	6	1	5
14	事業所より、ごちの安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いませんか。	9	1	2
15	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事 故が発生した際の状況等について説明されていると思いませんか。	10	1	1
16	ごちが安心して通所していますか。	12		
17	ごちが通所を楽しんでおられますか。	11	1	
18	事業所の支援に満足していますか。	12		



提供の場	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	この状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等サービス計画を作成し、支援が行われているか。	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	放課後等サービスプログラムの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、教育、教養等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	学校を卒業し、放課後等サービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて入浴・入浴や助言や研修を受ける機会を設けているか。	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	放課後等サービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	「放課後等サービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等サービス計画の同意を得ているか。

保 護 者 へ の 説 明 等	非 常 時 の 対 応
39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○
40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○
41 ひとり親家庭等からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、ひとり親家庭等に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○
42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をひとり親家庭等に対しで発信しているか。	○
43 個人情報等の取扱いに十分留意しているか。	○
44 障害のあるひとり親家庭等との意思の疎通や情報伝達のための配慮を講じているか。	○
45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	○
今後検討していく。	○
39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○
40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○
41 ひとり親家庭等からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、ひとり親家庭等に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○
42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をひとり親家庭等に対しで発信しているか。	○
43 個人情報等の取扱いに十分留意しているか。	○
44 障害のあるひとり親家庭等との意思の疎通や情報伝達のための配慮を講じているか。	○
45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	○
46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生源を想定した訓練を実施しているか。	○
47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○
48 事前に、服装や予防接種、たんばん発作等のごとの状況を確認していただくか。	○
49 食物アレルギーのあるひとり親家庭について、医師の指示書に基づき対応がとられているか。	○
50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○
51 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づき取組内容について、家族等へ周知しているか。	○
52 ヒヤリインシデントを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○
53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、ひとり親家庭等に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等子ども会に記入計画に記載しているか。	○

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表

事業所名 〇〇〇〇〇〇

公表日 年 月 日

項目	評価	コメント	実施状況	
			達成率	達成状況
1	○	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	
2	○	利用定員や子どもの状態等に対して、職員配置数は適切であるか。	○	必要に応じて、法人内で調整している。
3	○	生活空間は、子どもがわりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に配慮し、リアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	必要に応じて、環境設定している。
4	○	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○	
5	○	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することか認められる環境になっているか。	○	静養室、課題室、療育室など、目的や状況に応じて都度使用できるようにしている。
6	○	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○	基本的に全職員が参加するようにしている。
7	○	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	評価表以外にも、ご意向は日々お会いするなかで確認している。
8	○	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	ミーティングで日々話し合い、業務改善に繋がっている。
9	○	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	今後、外部評価も検討していく。
10	○	職員の資質向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○	
11	○	適切に支援プログラムを作成、公表されているか。	○	
12	○	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○	
13	○	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○	心理士の評価を元に、基本的に全職員計画立案に参加している。
14	○	児童発達支援計画が職員間共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	同上。
15	○	子どもの適応行動の状態を、標準化されたツールを用いたアセスメントやアセスメントや、日々の行動観察なども含むアセスメントやアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	
16	○	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域連携・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	
17	○	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	基本的に全職員で立案している。

課題や改善すべき点

項目	内容	実施状況	備考
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		
19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別、集団活動、組み合わせで支援を行っている。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	日々ミーティングを行い、振り返りや情報共有、改善を行っている。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に役立っているか。	○	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	
24	障害児相談支援事業所のサービスマンが会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	保育園と情報共有を行っている。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	
26	併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーシブ推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	
28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。		
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部門等に参加させているか。		
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて入居・入所や助言等を受けられる機会を設けているか。	○	今後、検討している。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	今後、検討している。
33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	送迎などでお会いする機会がある時に日々行っている。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	保護者と情報や支援について共有している。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	

非時等対応	説明	回答者への説明
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	法人で保護者参加型のイベントを企画するなどしている。
40	ごとき保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、ごとき保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	
41	定期的に通信等が発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をごとき保護者に対して発信しているか。	
42	個人情報等の取扱いに十分留意しているか。	
43	障害のあるごとき保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	今後、検討していく。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに発生を想定した訓練を実施しているか。	
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	
47	事前に、服装や予防接種、てんかん発作等のごときの状態を確認しているか。	
48	食物アレルギーのあるごときについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	
50	ごときの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づき取組内容について、家族等へ周知しているか。	
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、ごとき保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	